

平成15年8月1日発行

近江町議会議員 北村きよたか

連絡先 090 - 7489 - 7643

臨時会開催

法定協議会の設置議案可決



起立採決（賛成8、反対4）

去る7月24日、近江町議会第141回臨時会が開催されました。今回上程された議案は、
(1) 役場の課制条例等の一部改正（案）、
(2) 合併協議会の設置、
(3) 下水道工事の契約（西円寺地区）の締結 の3件。
合併については、長浜市と近江町、東浅井郡4町、伊香郡4町（1市9町）で構成する「湖北地域合併協議会（法定協議会）」の設置議案が審議され、採決の結果賛成多数で可決されました（賛成8、反対4）。本件は3年余の合併論議を経て結論が出され、今後は法定協議会のなかで、新しい自治体の建設計画等が協議されていきます。
（近江町ホームページより転載）

討論

本会議場にて



演壇に立つ北村きよたか

右肩上がりの経済は崩壊し、日本は長い低迷の時代に入っています。企業の倒産、失業者の増加、急激な高齢・少子化、国も地方自治体も巨額の負債を抱え、今まさに、機能不全に陥る瀬戸際にあります。
この閉塞感を打ち破る動きのひとつが市町村合併であります。合併を論議する上で忘れてはならないことです。しかし、ただ合併すれば、それだけで、これら課題が解決するかといえば、そうではありません。行財政の効率化、

政策形成能力の向上に向け取り組んでいかなければなりません。

このためには、より大きな枠組みが、結果的に住民我々にとつての利益をもたらします。

従って、今回上程された1市9町、13万3千人での法定合併協議会設立より1市12町、16万5千人での合併に、今なおこだわる気持ちが残っております。

また、今回の合併は、滋賀県の経済や社会基盤における、南高北低の解消、均衡ある発展につながるわけですから、より大きな合併が望ましいわけです。

しかしながら伊吹町、米原町、山東町は、3町合併に固執していると聞き及びます。

この現状ではとりあえず、1市9町での法定合併協議会設立は、やむなしと考え賛成しますが、今後、1市12町での実現に向け、3町への呼びかけは続けていただきたいと強く要望します。坂田がひとつになれないことは痛感の極みであります。

さて、合併でのまちづくりはバラ色のまちづくりではありません。いままでワンセツ

ト行政として、それぞれの自治体でやってきたことを、まとめて効率化したり、地域の特性を生かした選択集中投資が行われます。

住民の考えがより反映されなければなりません。我田引水の取り組みではありません。合併後の新しい市の中で、客観的に認められなければ投資は来ないということですから、非効率な施設があれば、これらは整理統合されなければなりません。

そして、職員の専門性は高めなければなりません。いままで許されていた、「あれもこれも、できませんわ!」といった言い訳は通用しなくなります。

私たち議員の資質も問われます。地域代表というより、市全体の方向性を決める能力が求められます。政策論争ができる議員でなければなりません。

今日の議決で、私たちは、合併に向けた一歩を踏み出すこととなります。この場に居合わせ、またこのような所で討論する機会をいただいたことは、新人である私にとって、まさに身の引き締まる思いであります。（北村喜代隆）

主張

合併特別委員会にて



私は議員当選以来、二つに割れた住民の皆さんの意向をどう取りまとめるかを考えながら、自分なりに、私たちが住民のためになる枠組みはどうあるべきかを考えてきました。そして、より大きな枠組みが、結果的に住民我々にとつての利益をもたらすと信じるようになりました。

従つて、1市12町、16万5千人での合併に、今なおこだわる気持ちが残っておりません。

伊吹町、米原町、山東町は、3町合併に固執していると聞き及びますが、今後とも1市12町での実現に向けて3町への呼びかけは続けていただきたいと、強く要望します。

さて、しかし、いまだに町民の皆さんからは「説明が足りない」「わからない」との声を聞きます。

私は6月1日、世継会館で「合併問題を考える」と題して、自分自身が勉強した内容の説明会をしました。多くの皆さんから今までわからなかった合併の意義が良くわかったとおっしゃっていただきました。これは、今までの町の取り組みでは、良く分からなかったという意味ではないで

しょうか。そして、次は、町の説明を求める声が、町民からあがっています。

安土町、能登川町、五個荘町の法定合併協議会が解散に追い込まれた事実は皆さんよくご承知のことと思います。

ここでは、法定合併協議会設立を、町長や議会が勝手にやったこととして非難する声があがっていました(安土町津村前議員)。こんなことにならないよう、今この時期に町民への説明をしっかりとやっていただきたいと思います。

私は今まで、口をすっぱくして、今一度、説明会の開催を、何度も町長にお願ひしてきました。6月定例会では総務常任委員会で指摘しました。そしてその後、参考用として私の作成した資料をお渡ししています。

今、この時期に、町民の皆さんに、合併についての正しい理解をしていただかないと、とんでもないことになるのではないかと、私は危惧しているのです。

今日、1市9町での法定合併協議会設立議案は可決されるでしょう。しかし、町民の皆さんに不信感が残るようであれば、それはいけません。

実は私、町に説明能力が不足しているのではないかと心配しているのです。

私が議員になって町からいただいた資料は、今年2月付けの「湖北地域市町合併を考える参考資料」という近江町合併推進室発行の資料です。読みにくいし、しかも、作りの読者に読ませようという意図が感じられませんか。

ここに、昨日、近隣の町のホームページで発見した「将来のわたしたちのまち 市町村合併」と題する資料があります。この資料は詳しくデータも出ています。

この文書の趣旨は近江町のものと同様です。しかし、たとえば「合併の歴史」といった項目ではその町の変遷が、また、少子高齢化の項目でもその町の現況と将来予測がはいっていて、身近な問題として捉えることができるようになっています。こんな工夫があれば、誰でも町民に説明できます。

町長に要望します。この資料のような、分かりやすい近江町版を、職員に持たせてください。そして町民への説明会をぜひ開催してください。(北村喜代隆)

北村きよたかの

政務調査活動

最近の活動項目は次の通りです。

大字飯地先の天野川橋に歩道橋設置を求める請願の調査と同僚議員への協力要請

大字長沢、土川からの取水状況、堰の確認、天野川土地改良区での進捗確認

大字世継、下水道宅内配管清掃に関する調査

地元の問題は、北村きよたかへ、お気軽にご相談ください。



大字長沢の農業生活用水取水に重要な役割を果たす堰